

安全データシート（閲覧用）

整理番号： 49589-E81
 作成： 2019/04/12
 改訂： 2020/10/01

製品名： リライアソル E-P (N)

1. 化学物質等及び会社情報

製品名： リライアソル E-P (N)
 会社名： ENEOS株式会社
 住所： 〒100-8162 東京都千代田区大手町一丁目1番2号
 担当部門： 添付資料参照
 (TEL:添付資料参照, FAX:添付資料参照)
 緊急連絡電話番号： 添付資料参照

2. 危険有害性の要約

GHS分類	区分
引火性液体	区分に該当しない（区分外）
皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
皮膚感作性	区分1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分2

GHSラベル要素

絵表示：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 皮膚刺激
 重篤な眼の損傷
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き： 安全対策 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 眼に入れないこと。飲み込まないこと。
 環境への放出を避けること。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレアの吸入を避けること。
 取り扱い後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

安全データシート（閲覧用）

整理番号： 49589-E81
 作成： 2019/04/12
 改訂： 2020/10/01

製品名： リライアソル E-P (N)

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

漏出物を回収すること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。

一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。

廃棄 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。

不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物
 成分及び含有量

成分名称	含有量 wt. %	CAS#	化審法	安衛法		化管法	毒劇法
			官報公示 番号	官報公示 番号	通知物質	指定物質	毒物劇物
鉱油	10-20	---	既存	既存	通知-168	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 体を毛布等でおおい、保温して安静を保ち、異常があれば医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合： 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 触れた部分を水またはぬるま湯でよく洗い流す。外観に変化があるか、痛みが続く場合は、医師の診断を受ける。

眼に入った場合： 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 清浄な水で数分間注意深く洗う。
 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。
 その後も洗浄を続け、最低15分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合： 無理に吐かせないで、医師の手当てを受ける。
 口の中が汚染されている場合は、水で十分洗う。

応急措置をする者の保護： 情報なし

5. 火災時の措置

安全データシート（閲覧用）

整理番号： 49589-E81
 作成： 2019/04/12
 改訂： 2020/10/01

製品名： リライアソル E-P (N)

消火剤：	炭酸ガス、泡、粉末消火剤が有効である。
使ってはならない消火剤：	情報なし
特有の危険有害性：	現在のところ有用な情報なし。
特有の消火方法：	火元への燃焼源を絶つ。 周囲の設備等に散水して冷却する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	作業の際には、保護具を着用する。
環境に対する注意事項：	環境への放出を避けること。 下水道・河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないよう注意する。
封じ込め及び 浄化の方法及び機材：	漏出物を回収すること。 全ての着火源を取り除き、漏洩箇所の漏れを止める。 危険地域より人を退避させる。危険地域の周辺には、ロープを張り、人の立入りを禁止する。 少量の場合は、土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させ回収する。 大量の場合は、盛り土で囲って流出を止めた後、出来るだけ空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 熱、火花、炎、高温体等との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。禁煙。 皮膚に触れたり、眼に入る可能性のある場合は保護具を着用する。 取扱いは通気の良い所で行い、呼吸用保護具を使用する等してミストまたは蒸気を吸入しないようにする。 火花、炎、高温体等との接触を避ける。
局所排気・全体換気：	室内で取扱いを行う場合は、十分な換気を行う。
安全取扱注意事項：	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 火気注意 容器を開ける時は、手を切る恐れがあるので、保護手袋を着用する。
接触回避：	強酸化剤との接触を避ける。 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。

安全データシート（閲覧用）

整理番号： 49589-E81
 作成： 2019/04/12
 改訂： 2020/10/01

製品名： リライアソル E-P (N)

衛生対策： ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件： 酸化性物質、有機過酸化物など同一場所に保管してはならない。
 密閉した金属容器に入れ、0～40℃の直射日光、降雨の当たらない場所に、火気、熱源より遠ざけて保管する。
 ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管する。
 保管場所に施錠して保管することが望ましい。

安全な容器包装材料： 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
 全体換気または局所排気装置を設置する。

許容濃度

成分名称	厚生労働省(安衛法)	日本産業衛生学会	ACGIH		
	管理濃度	許容濃度	TLV-C	TLV-STEL	TLV-TWA
鉱油	-ppm -mg/m ³	-ppm 3mg/m ³ (Mineral Oil Mist)	-ppm -mg/m ³	-ppm -mg/m ³	-ppm 5mg/m ³ (Mineral Oil Mist)

保護具

呼吸用保護具： 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 通常必要でないが、必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を着用する。

手の保護具： 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 長期又は繰り返し接触する場合は耐油性のものを着用する。

眼の保護具： 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 飛沫が飛ぶ場合にはゴーグル型眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具： 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 長期間にわたり取扱う場合または濡れる場合には耐油性の長袖作業着等を着用する。

適切な衛生対策： 濡れた衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

安全データシート（閲覧用）

整理番号： 49589-E81
 作成： 2019/04/12
 改訂： 2020/10/01

製品名： リライアソル E-P (N)

9. 物理的及び化学的性質

製品

外観 物理的状态：	液体
形状：	液体
色：	濃緑色
臭い：	アミン臭
融点・凝固点：	データなし
沸点、初留点 及び沸騰範囲：	データなし
燃焼性（固体、気体）：	データなし
燃焼の又は爆発範囲：	データなし
引火点：	データなし
自然発火温度：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	9.3(×10)
動粘度：	データなし
溶解度：	水：易溶
n-オクタノール／水 分配係数：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度(g/cm ³)：	0.99(15℃)
蒸気密度：	データなし
粒子特性：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性：	通常の条件では安定。
化学的安定性：	通常の条件では安定。
危険有害反応可能性：	強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件：	混触危険物質との接触。
混触危険物質：	強酸化剤
危険有害な分解生成物：	燃焼の際は、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物など有毒で腐食性のガスを生じる可能性がある。

11. 有害性情報

製品

急性毒性（経口）：	分類できない 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
-----------	--

安全データシート（閲覧用）

 整理番号： 49589-E81
 作成： 2019/04/12
 改訂： 2020/10/01

製品名： リライアソル E-P (N)

急性毒性（経皮）：	分類できない 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
急性毒性（吸入）：	区分に該当しない（分類対象外）（気体） 分類できない（蒸気） 分類できない（粉塵・ミスト） 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：	区分2 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性：	区分1 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
呼吸器感作性：	分類できない 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
皮膚感作性：	区分1 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
生殖細胞変異原性：	分類できない 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
発がん性：	分類できない 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
生殖毒性：	分類できない 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
特定標的臓器毒性、単回ばく露：	分類できない 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
特定標的臓器毒性、反復ばく露：	分類できない 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
誤えん有害性：	分類できない 混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
その他の情報：	混合物については、情報なし

12. 環境影響情報

製品

生態毒性	
急性毒性：	分類できない

安全データシート（閲覧用）

整理番号： 49589-E81
 作成： 2019/04/12
 改訂： 2020/10/01

製品名： リライアソル E-P (N)

魚類：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
慢性毒性：	区分2
魚類：	混合物については、混合物の分類に基づき、危険有害性の区分を分類した。
残留性・分解性：	現在のところ有用な情報なし。
生体蓄積性：	現在のところ有用な情報なし。
土壌中の移動性：	現在のところ有用な情報なし。
オゾン層有害性：	分類できない
他の有害影響：	情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法： 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

投棄禁止。

埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃えがらについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下であることを確認しなければならない。

燃焼する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼または爆発によって他に危害または損害を及ぼす恐れのない方法で行うと共に、見張り人をつける。

廃容器に圧力をかけると破裂することがある。廃容器は溶接、加工、穴あけ、または切断を行うと、爆発を伴って残留物が飛散することがあるので注意する。

14. 輸送上の注意

IATA分類	国連分類：	クラス9
	国連番号：	UN3082
	品名（国連輸送名）：	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.
IMDG分類	容器等級：	III
	国連分類：	クラス9
	国連番号：	UN3082
国内規制：	品名（国連輸送名）：	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S.
	容器等級：	III
	陸上輸送 消防法 非危険物	
輸送の特定の安全対策及び条件：	海上輸送 船舶安全法 非危険物（個別運送及びバラ積み運送に於いて）	
	航空輸送 航空法 非危険物	
	容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬する。	

安全データシート（閲覧用）

整理番号： 49589-E81
作成： 2019/04/12
改訂： 2020/10/01

製品名： リライアソル E-P (N)

15. 適用法令

安衛法： 表示対象物(鉱油) , 通知対象物(鉱油)
水質汚濁防止法： 油分排出規制
下水道法： 鉱油類排出規制
廃掃法： 産業廃棄物規則

海外各国・地域の化学物質規制： 商品に使用している化学物質が、海外各国・地域のインベントリーに記載されていない場合には当該国・地域には輸出できませんのでご留意をお願いします。商品を海外へ輸出される場合はお問い合わせください。

16. その他の情報

参考文献等： 許容濃度等の勧告(2010)日本産業衛生学会 産業衛生学会誌
米国産業衛生専門家会議(ACGIH) “TLVs and BELs 2010” (2010)
IARC Monographs Programme on the Evaluation of Carcinogenic Risk to Humans (2006)
EC理事会指令「67/548/EEC」の付属書I「危険な物質リスト」
日本規格協会(JIS) JISZ7253:2012 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」

免責文： 安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱う事業者提供されるものです。
取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。
従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。